

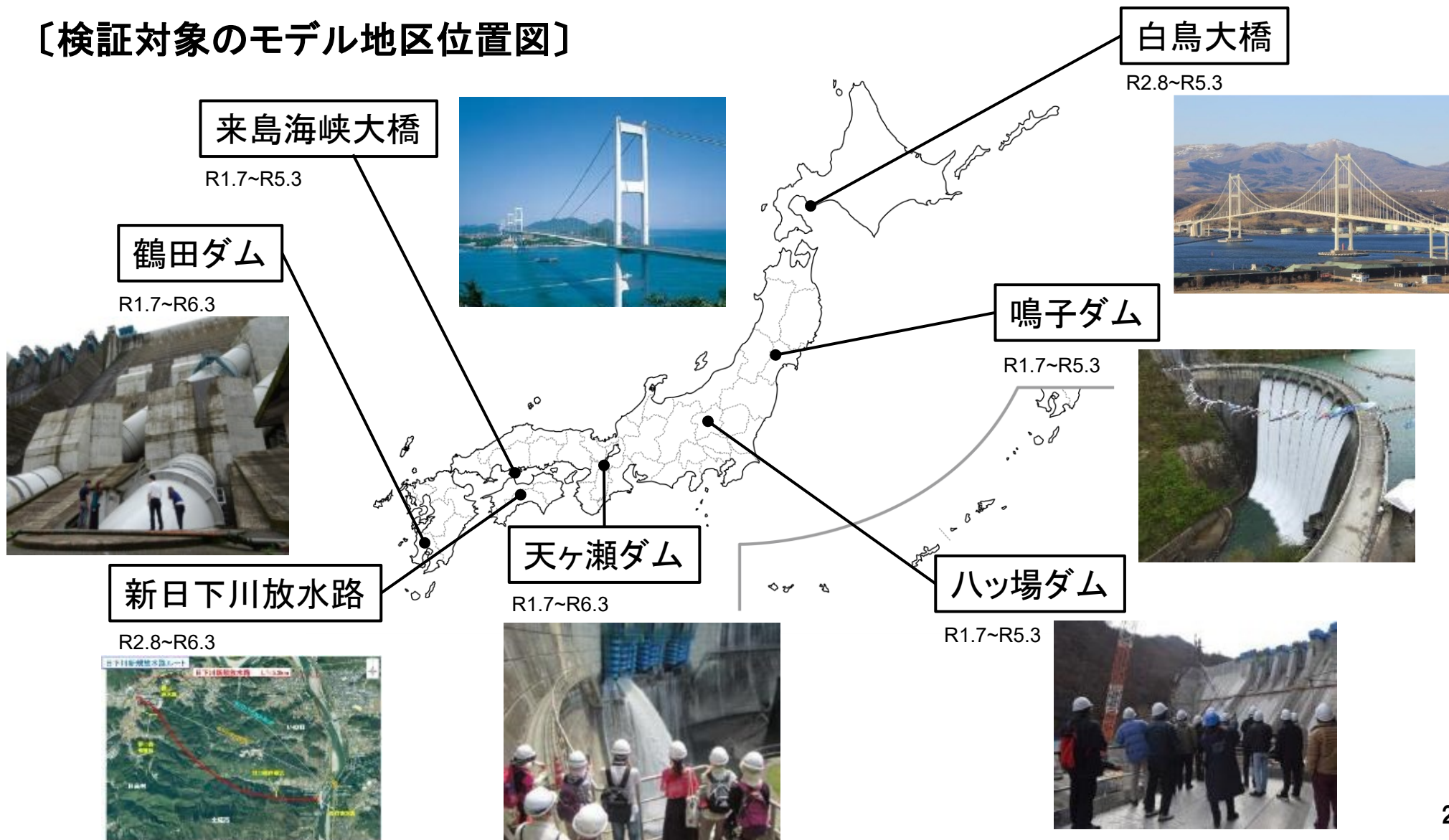
モデル地区における取組のフォローアップ



過年度モデル地区の検証について —検証対象—

○ これまでモデル地区として選定した全13地区のうち、令和7年3月に卒業した3地区及び実証中の3地区、計6地区を除いた7地区を対象に、フォローアップを実施した。

〔検証対象のモデル地区位置図〕



モデル地区【選定時・卒業時・現況】の整理

- 戦略
- 事業基盤(体制、受入環境)
- 提供商品(コンテンツ・ガイド)、観光コンテンツ
- ツアー参加者の属性
- 卒業時からの進化

施設管理者および自治体等アンケート

- モデル地区の取組に対する感想
- 地域の賑わい創出状況
- 卒業時からの進化
- アピールポイント
- 今後の改善点
- さらなる拡大への意欲

モデル地区【選定時・卒業時・現在】の整理結果

● 開催頻度、コンテンツ内容、運営主体（民間/観光協会など）

- 地区によって差があるものの全ての地区で施設管理者以外の運営主体による有料ツアーの販売・運営が継続している。
- 全ての地区で、有償ガイドやボランティアガイドの設置を継続している。
- 今後地元の有償ガイドを増やしたいといった意向のある地区もある。
- 施設管理者以外の運営主体によるツアー運営を実施している地区では、卒業後も土日対応を継続。

● ツアー参加者の属性

- 限定的な地区も多く、ターゲット層は特に意識されていない。

● 卒業時からの進化

- 地域や管理者のやりたいことを実現するために発展的内容を検討中の地区もある。